

スパルタ恋愛実践塾 第2話

こんにちは、このはなさくやです。いよいよ2本目の動画が公開となりました。実際、1回目の動画を公開してからたくさんのご感想をメールでいただいています。

みなさまそれぞれが熱いメッセージで、本当に驚いています。まだまだ、メッセージを受け付けておりますので、なにか疑問に思うこと、不安に思うこと、感想でも何でも構いませんのでぜひ送ってください。

スケジュールの関係で、すべてにお答えするのは物理的に難しいのですが、できる限りお一人おひとりにメールをお返しさせていただいていますので、どんどんご感想をいただけたらと思います。

さて、今回の音声では、私がやっているカウンセリングの独自のやり方、特別なノウハウが登場します。

そのノウハウを使った方の成功事例としては、40歳を過ぎるまでまったく男性とお付き合いをしたことがなかった女性が、男性から食事にさそわれるようになってお付き合いを申し込まれたり。そのほかにも、一応彼はいるけど、仕事や友だちとの付き合い優先であとまわしにされていた女性が、最優先にしてもらえるようになったり。何年もつきあっているのにずっと結婚を言い出さなかった彼から突然プロポーズされたり。そういうことが、フツーに起きちゃってるんですね。

あとは、第一話にも登場しましたが、25歳のときに、突然の婚約破棄を経験した女性。彼女は彼を忘れるために仕事に打ち込んだんですが、いつのまにか適齢期を過ぎてしまい、年齢的な焦りから不倫に足を突っ込んでしまうということを繰り返していました。そのまま還暦前まできて、「これじゃまずい」ということで、あわててわたしのところに駆け込んでこられたのですが、彼女も最終的に62歳で幸せな結婚をなさいました。

ほかにも、男性とは友だちどまりで終わっていた女性に彼ができたり、男性から大切にされないお付き合いばかり繰り返してきた女性に、対等なパートナーシップを築ける相手が見つかったりと、この方法論を使って素敵な出会いにめぐまれた方がたくさんいらっしゃいますね。

なぜ、40歳を過ぎるまで、ただの一度も男性とお付き合いしたことのなかった女性が、彼女をころから魅力的だと思ってくれる男性と出会うことができたのか？あるいはいつも自分ばかりが我慢してつなぎとめる、報われない恋愛ばかり繰り返してきた女性が、本当に大切にしてくれるパートナーを見つけることができたのか？あるいは、還暦近くまで長期間の不倫ばかりくりかえしてきた女性が、自分にぴったりの男性と出会い、幸せな結婚をすることができたのか？

その秘密を公開していきますので、ぜひこの音声をですね、もう本当にすごい秘密を公開していきますので、最後までじっくりときいていただけたらと思います。ではいまから本編がスタートとなりますので、このまま聞いていただけたらと思います。

さて、もう一度同じ話をしてしまいましたが、前回の動画から本当にいろんな感想をいただきました。その多くが、興味が湧きすぎて、今すぐ聞きたいです、教えてください、という感じだったんですが、私もですね、20代30代の頃は、恋愛ベタ、もっとハッキリ言うところ「恋愛弱者」で、本当に苦しい時期を長く過ごしてきました。そこから自分の問題を少しずつクリアしてきて、現在は、かつての自分と同じように恋愛がうまくいかない女性たちの相談にのる立場になりました。中にはわたしを「先生」とまで呼んでくださる方もいらっしゃいますので、あまり誤解を生むようなことは言い切りたくないんです。

というのも、あなたも目にしたことがあると思いますが、誇大広告のようなことを言う人、たくさんいるじゃないですか？簡単にパートナーが見つかるよとか、ずっと大切にされる関係が10年20年続くよとか、男性とまったくお付き合いをした経験がなくても大丈夫、さっきいったような「恋愛弱者」の方でも大丈夫とか。

そういうのって、はいて捨てるほどありますよね？

そこでいうと、今わたしが話していることは、過去、シークレットで一年間の個別集中のスパルタサポートをさせていただいた30人の女性が、全員、ご本人が望まれる結果を手にした、ということです。で、「なんだ、さくやさん、自分だって同じじゃないの？結局誇大広告じゃん？」と思われても仕方ありませんよね？

だから具体的な数字とかはあまり言いたくないんです。

カウンセラーとしての信用問題もありますし、誇大広告と一緒にされたら困るんですよ。

こちらとしても本気でやっていますし。

よくほら、アメブロとかで、すごいハデハデのブログつくって、「スピード婚」だとか「引き寄せ婚」だとか書いてる自称恋愛カウンセラーの方たち、いるじゃないですか。

もう、ブログタイトルからして、アンタ、どんだけ女性バカにしてんのよ？っていう人も

いるじゃないですか？

「彼氏いない歴イコール年齢のアラフォー崖っぷち女子が 12 歳年下イケメンの年収 1000 万円彼氏を引き寄せた極意」とか。

そこまでエゲツない妄想欲望ギラギラなこと書いても、「ハイ、ハイ、それ、アタシのことですら〜！」ってもろ手上げてホイホイひっかかってくる、おツムの弱い夢見る夢子だっと思われちゃってるんですかね。パートナーがいない女性って。

全員が全員、年下彼氏がほしがってるとでも？イケメンがいいとでも？
年収 1000 万円狙いだとでも？ホントに思ってるんでしょうか？

わたしはこれまでの 20 年でのべ 1 万人を超える女性とカウンセリングさせていただいてきましたけど、もちろん中には箸にも棒にもひっかからないおバカさんもいますよ？
でもね、大部分は、本当に真面目で、恋愛についての知識やスキルがなかったり、自分に自信が持てなかったりで、たまたま彼氏ができにくかった、っていう方たちなんですよ。

なんかそういう、女性をバカにしてるといふか、女性をナメ切った、切実に悩んでる女性をカモにして自分が儲けることしか考えてないおたんこなす（救いようのないバカのこと）と一緒にされたくないんですよ。
誰でもイヤだと思うんですが、私もイヤなんですよ。

それでも今回はあえて数字と実例を交えて、詳しくお話ししようと思っています。

なぜなら、わたしは知ってほしいんです。
たとえあなたが「自分にはどうしてもパートナーができない」と長年絶望してきたとしても、「そのカベはぶち壊せる」ということを。

というのは、今までの恋愛ノウハウって、なんだかんだいって結局は、年齢とか、容姿とか、住んでる地域とか、あとは自分に自信があるかないかとか、そういうのが影響しちゃうと思うんですが、わたしのやり方だとそれが影響しないんです。

だからわたしは自信をもって言えるのです。なによりわたし自身も、この方法で幸せなパートナーシップをつかみました。さらに、クライアントさんたちも本当に自分にあったパートナーを引き寄せることに成功してきました。
その方法を公開しようと思っています。

ただ、やっぱりこれだけきくと、「さくやさんだから出来たんでしょ。」とか、「経験があるからできたんでしょ。」って思っちゃうでしょうから、もう一度、まったく男性とお付き合いをしたことがなかった、正真正銘の恋愛初心者、恋愛弱者の状態から、恋愛強者に変身した方の話をしようと思うんです。

もしかしたら一本目を飛ばしてこの音声から聞いている人もいるかもしれないので、簡単にもう一度自己紹介しますね。

私は元々は、フランスの企業につとめる会社員でした。

親、特に父親がものすごく支配的な人で、要は、今でいうところの DV・モラハラですが、母を奴隷のように扱っているのを見て育ちましたもんで、パートナーシップのいいモデルがないまま大人になっちゃったんですよ。

父親の支配から自由になるために就職して一人暮らしを始めたんですが、まあ、会社でも浮いてて、要領も悪かったもんでしたから、かなりキツイイジメにもあいました。

十円ハゲも出来ました（苦笑）

心のよりどころといえば、その当時つきあっていた彼オンリーでした。だから、彼ベッタリになってしまって、彼にしてみても重かったんでしょう。

ムゴい振られ方しましたね。

そんなこんなでどこにも居場所がありませんでした。

毎日憂鬱で、自分のことを価値ある存在だとは思えませんでした。

人間関係、特に男女関係で、相手との距離が縮まると、とたんに大事にされなくなって粗末な扱いを受けるようになる。

そういうことばかりくりかえしてましたね。

しかし、そんなわたしにも転機がやってきました。

20代の後半に、知人の勧めでカウンセリングを受ける機会がありました。

そのときはじめて、自分自身をありのまま全面的に受け止めてもらえる、という体験をしたのです。

そこからカウンセリングに興味を持つようになり、自分もカウンセラーになりたいと思い、カウンセリングの勉強を始めました。

その過程で、自分のどんな思い込みや振る舞いが原因で、恋愛がうまくいかなかったのかも理解できるようになりました。そして、ちょっとずつちょっとずつ男性ともうまく付き合えるようになりました。最終的には現在の夫とであい、幸せな結婚生活を送っています。

そして今は、かつての自分と同じような、一生懸命生きているのに、報われない恋愛ばかりを繰り返している人。

女性であれば、一番欲しいものといえば、なんといっても愛する人との幸せな関係ですよ。それが手に入らないという女性のサポートをしています。

その過程で、40歳を過ぎるまで誰ともおつきあいをしたことがなかった女性にパートナーができたとか。男性に尽くし過ぎていつも後回しにされていた女性が、彼女を気づかうメールをマメにもらえるようになったりとか。DVやモラハラを繰り返す彼やダンナさんにボロボロにされながらも、それでも離れられなかった女性が、キッパリと決別できたり。そうした女性が、その後、まったく違うタイプの、本当に彼女を大切にしてくれる男性を引き寄せることができたり...

カウンセラーという仕事をしている人って、商売っ気がなくて集客がヘタクソなものもあるんでしょうけど、コレを言ってしまうと、業界の暴露バナシになってしまいますが、ほとんどの人が、カウンセリングの依頼件数が月に2~3件あるかないか、多くて10件程度。そんなものなんですよ。

十分な臨床経験を積んでいないと、当然カウンセリングスキルも上がらないわけで。

医師免許だけは持ってるヤブ医者と一緒にいますよ。そんな中で、手前みそではありますが、わたしは月にコンスタントに、80件~100件、少ない月でも、70件はカウンセリングしています。しかも、依頼内容は90%以上が男女関係です。それだけの件数の男女関係問題をあつかってきました。

会社員との二足のわらじをはいていた時代をふくめると、もうかれこれ20年以上カウンセラーをやっていますね。いつのまにか。

その過程で当然、「結婚しました~」なんてご報告もいただいてきました。

難易度が高い男女関係問題も、一般のカウンセラーの方よりも、件数だけ見ても5倍以上こなしてきましたし、クライアントさんたちが健全な自尊心を取り戻し、望む結果を手に入れるお手伝いも、5倍成果を出してきましたね。

そういったノウハウとか経験のおかげで、いまでこそ男女のパートナーシップの分野では、少しはわたしのことを知ってくださっている方もふえてはきましたけど、最初から私が優秀だったかっていうと、全くそんなことはなくて、むしろダメダメな恋愛弱者からスタートしてるんです。

例えば、私は子どものころから、母親から容姿をけなされて育ちました。鼻が低いとか、おでこが出ているとか、エラが張っていて、眉毛も真一文字で、一重でへの字口でちっと

もかわいくないとか。

おとなりの○子ちゃんは、ひな人形みたいなカワイらしい顔してるのにとか。

まあ、もともと両親が夫婦仲が悪かったですし、わたしはどちらかという父親似でしたしね、父の暴力を怖れて、父には面と向かって言えない分、わたしにぶつけたんでしょう。まあ、娘としては迷惑な話です。そんなこんなで、わたしは自分のことを美しいともカワイイとも思えず、むしろ今風の言葉でいえば、「残念女子」だとおもってました。

ですから、女性の価値というものが、年齢的な若さや見た目のかわいらしさに重きを置かれる日本社会に、閉塞感を感じていましたね。

なので、日本ほどは、女性が若さや見た目のかわいらしきで評価されない、欧米社会に憧れを持っていましたし、実際に、学生時代もフランスを中心とするヨーロッパの文化や社会学、言語、政治・経済・外交などを学びました。

こういうことを言うと、「さくやさん優秀なのね」とか思う方いらっしゃると思うんですが、全然違うんです。さっきも言いましたけれど、わたしは一番味方になってほしかった母親に容姿をけなされまくって育ちましたし、実際のところ男の子たちからも女の子扱いされませんでしたから、「見た目や年齢」だけで女性である自分の価値が決められてしまう状況に怨念すら抱いてたわけですよ。ですから、なんとしても自由になりたかったんです。そしてそれは、「欧米通」になることで見返してやるしかなかったわけです。

そんなわけで、おつきあいをした男性も、欧米人の方が多かったですね。

もちろん日本人の男性とまったくおつきあいしたことがなかったわけじゃありませんよ？

まあ、今の夫もイギリス人ですが。

今ふりかえると、自分は「残念女子」なんだっていうコンプレックスがあって、その反動もあって早々と日本の社会に背を向けて、欧米志向で「ワタシ、自立シテマス」って、肩で風を切って生きてきたもんですから、かわいくないといえばかわいくなかったでしょうね。

ホント、もう、呪われてるんじゃないか？と思うくらい、20代から30代前半にかけての恋愛は、うまくいきませんでした。惨敗続きでしたね（苦笑）

これまた今風の言葉で言えば、「イタイ女」でしょうか？

そんなこんなで、本当に、10代20代のころから、恋愛には悩み苦しんできました。ただいつか報われると信じてきましたし、いろんな本を読み、いろんな講演会やセミナーにも顔を出し、いろんな方にアドバイスを頂いて、自分探しの様なことをしてきました。でも、ほんと、思うようにいかなくて、若いころの恋愛って、ふつうはどこか甘酸っぱくてキュンとするっていうか、ワクワクウキウキするものじゃないですか？でも、わたしの場合は、もちろんワクワクウキウキもしましたが、つきあってもすぐうまくいなくなる、ということを繰り返してました。ですから、痛みの方が多かったです。

あとはアレですね、その頃は人との距離の取り方もヘタだったこともあって、同性の友人からの「ハナシ聞くよ～」っていうのにつられて、無防備に自分の悩みをベラベラ話しちゃって、彼女たちから、アドバイスと称して「だからアナタはダメなのよ～」みたいな、上から目線のダメ出し食らったり。

あとはこういうこともありましたね。

「ハナシ聞くよ～」と言ってくれた女友達にバカ正直に悩みをはなしたら、

「彼が本当はアナタのことどう思ってるのか聞いてあげる」

なんて、頼みもしないのにその彼と話し合いに行っちゃって、挙句の果てには、

「さくやちゃん、ごめ～ん、カレから、さくやちゃんじゃなくてアタシと付き合いたいわって言われちゃった。だからさくやちゃんと別れたいわって。ごめ～ん、アタシそんなつもりじゃなかったの」とか、勝ち誇ったような顔で言われたりとか。

まあ、今思えば、どっちのケースも、人との距離感がわからなくて、いわれるがままに自分のことぜ～んぶベラベラしゃべっちゃった挙句、利用されて足元すくわれたっていうヤツなんです（苦笑）

そんなわけで、もう、人間不信になった時もあります。

なので、本当にわかって頂きたいのは、私自身が決して特別ではないということなんです。

特別ではないどころか、ダメダメな恋愛弱者、残念女子でしたから。

ただ、あきらめが悪かっただけなんです。だから、ずいぶん時間はかかりましたけど、あきらめが悪かったおかげで、最終的に幸せなパートナーシップを手に入れることが出来ましたし、今こうして、人様にも、男女関係専門のカウンセラーということで、アドバイスなんかもできるようになった。

ただそれだけなんです。

そして、1話でも触れたのですが、わたしがこれまでの20年間のあいだにカウンセリングをさせていただいた方の数はのべ一万人超。

そして、その中でも特別にご縁があって、一年間連続でみっちり指導させていただいた方が30人。

その30人の方全員が、ご本人が希望されていた結果を手に入れました。

40代になるまで、男性と一度もお付き合いをしたことがなかった方に、初めて恋人ができました。

大学時代のカレと別れたのを最後に、15年間、恋人ができなかった37歳の女性。

彼女も、ちょうど一年前カレができて、今年婚約しました。

あとは、美人で、決してカレができないわけじゃないけど、いつもを二股かけられてしまうなど、大事にされない恋愛を繰り返していた方。そんな方が、それまでとは全く違うタイプの、自分を大切にしてくれる男性とのおつきあいはじまったり。

このように、一年間集中指導させていただいた30人のうち6人が、婚約またはご結婚をされました。

ただ、一番大切な目的は、決して、恋人を作るとか結婚をすることではなく、「自分を愛せるようになること」。

恋人ができたり結婚することは、あくまでも結果論でしかありませんので。

なんでわたしが「自分を愛すること」をこんなに大切にしているかということ、結局、自分を愛せない人は、パートナーからも愛されないということが、長年の経験からわかったからなのです。

さきほどお話した、大学卒業以来15年間ずっと彼ができなかった女性。

彼女は目鼻立ちもくっきりしていて、とてもかわいらしい魅力的な女性でした。

性格もいいし、仕事も手を抜かずにしっかりやる、上司にもかわいがられ、後輩にも頼りにされる。あとはカレがいればということなし、な状態でした。

で、なまじ「あとはカレがいればということはない」という状態だっただけに、ご本人、思いつめてあせっちゃったんですよ。

「どうでもいいことは叶うのに、一番叶ってほしい夢がどうしてもかなわない」って。

で、彼女、一生懸命婚活してたんですよ？

でも、必死すぎると逆効果なんですね。

彼女、友だちとしては人気はあっても、それ以上男性が近寄ってこなかったんですよ。

そして、自分の何がいけないのか、ずっと悩んでて。

「わたしの何がいけないんだろう？」って、15年間ずーーーーーっと思いつめてきたん

です。

でも、思いつめて原因探しをすればするほど、余計答えが見えなくなるんですね。

その悪循環を繰り返していました。

あとから彼女に聞いたんですが、彼女もホント、ありとあらゆるお見合いサイトに登録して、結婚相談所にも入会してて、恋愛ノウハウの教材を買いあさったり、スピリチュアル系のチャネラーさんのところに行っては前世をみてもらったり。

パワースポットツアーがあると言えば参加し、恋愛に効くパワーストーンなんかも相当集めていたそうです。

初めてウチにカウンセリングに見えたときも、首と腕に、これでもかかっていうくらいジャラジャラと、パワーストーンのネックレスやブレスを何重にも巻きつけてましたね。

あ、そうそう、霊能者の先生のところにも行って、お祓いもしてもらったって言ってましたね。

それだけ不安が強かったんですね。

そういうのにおカネをつぎ込み過ぎて、30代後半になるのに、貯金もほぼゼロ。

彼女、わたしのところに来た当初は、腰までとどく長い髪の毛を背中に垂らしていました。

でも、ちょっとむさくるしい印象を受けたので、「髪の毛、長いのが好きなの？」ときいたところ、お金がなくて、あまり美容院に通えないため、髪を伸ばしている、ということだったのです。

あとから知ったことですが、彼女がお金カツカツだったのには、実はもう一つ理由がありました。

実はその当時、彼女は、既婚者の男性とつきあっていました。

彼女もあとから「あのころのわたし、どうかしてました。」って笑ってましたけど、もう、必死すぎると、ホント理性ぶっとんじゃって、な〜んにも見えなくなっちゃうんですね。

で、その不倫のカレのビジネスを助けるために、結構な額のお金貸しちゃったんですよね。

それが彼女がカツカツ状態だったもう一つの理由でした。

で、不倫の男性の常套句、「妻とはもう終わってる。オマエしかいない。でも子どもが成人するまで離婚できないんだ」という言い訳を頭っから信じていました。

そして、彼女の友だちが、「これ読んで目をさましなさいよ！」って、わたしのメルマガを紹介したのがきっかけでわたしのところにくるようになったんですが、彼のビジネスのために大金つぎ込んで貯金はないわ、当の彼は一向に奥さんと別れないわ、彼女も彼女で、そんな彼への執着も手放せないわで、大変でしたね。

彼女が泣いて、ほっぺたの涙をぬぐうたびに、腕に巻き付けたパワーストーンブレスがジャラジャラッ、ジャラジャラッと音立ててましたから（苦笑）

見ると、ローズクォーツとかインカローズとか、いわゆる恋愛運があがるとか、ソウルメイトと結ばれる系のパワーストーンばかり（苦笑）

彼女の長い髪とあいまって、妖怪人間みたいでした（爆）

「あちゃ〜... 女って恋におぼれると、盲目になっちゃうんだよね〜。ハア〜...」とため息つきつつも、ま、ご本人、覚悟決めてわたしのところに来たわけですからね。こっちだってガチンコでかかりますよ。一応これでもプロですから。

そんなワケで、どんなご縁で来られたにせよ、ウチへ来られた以上は、こちらとしても徹底的にやらせてもらいましょってということで、わたしもハラくりましたよ？

わたしの尊敬するカウンセリングの恩師が言ってましたからね。

「出会う人はみな、ひとりひとりが自分自身を映し出す鏡のかけら」

「クライアントはある意味、カウンセラーにとってもう一人の自分でもあるんだ」と。

ま、そんなわけで、ガチンコ勝負で徹底的にかかわらせていただくことにしました。

その当時は、これら 30 人の彼女たちのほとんどが、

- 自分に自信がない
- 自分を価値ある存在だと思えない
- 悲観的
- 男性に対する期待や依存心が大きすぎ、
- 自己客観視出来ない

こんな状態でした。

今だからこそ言えるのですが、当時はホント、オハナシにならない状態の方も多かったんです。

「自分が男性だったら、今の自分と付き合いたいと思いますか〜？」って聞くと、みんな下向いちゃって、誰も手を上げない。

そんな状況だったんですね。

で、そんな彼女たちでしたが、今はダメダメの恋愛弱者でも、もう自分から逃げない、現実から目をそらさない、絶対にこの状態から抜け出して、幸せなパートナーシップをつかむんだっていう意気込みがあったからなんでしょうね。

もしくはわたしのノウハウがあまりにも簡単すぎたか。

まあ、どちらかはわかりませんが、両方でしょうか。

でも簡単だったというのはあるとおもいます。

だって、わたし、何も特別なことは教えてませんから。

ちなみにその、大学卒業以来 15 年ずっと恋人ができなかった彼女は 37 歳でしたが、私のクライアントには最年少で 25 歳の方もいます。

初々しくて、ホントかわいらしいです。そして、さっきから何度も登場している、62 歳で幸せな結婚をされた女性を除くと、いまのところ最年長は 56 歳なのですが、

20 代だろうが、アラサーだろうが、アラフォー、アラフィフだろうが、アラカンだろうが、全然いけます。

幸せなパートナーシップをつかむのに、年齢は全然関係ないのです。

ときどき、「そうは言っても、さくやさん、結婚相談所のアドバイザーの方に、女性は 35 歳を過ぎたら市場価値がないって断言されちゃって。わたしもそんなことは信じたくはないけど、でも、プロの結婚相談所の方が言うんだから、やっぱりそうかなって弱気になっちゃうんですよ...」

こんなふうにおっしゃる方がいます。

でも、ぜんぜん関係ないです！！

わたし自身、今の夫と出会ったのは 30 代の終わりですし、結婚も 40 歳を過ぎてです。

私のクライアントも、さっきから何度も登場している 62 歳で結婚した方とか、

ちなみにこの 62 歳の方、初婚ですよ？初婚。再婚じゃなくて。

あとは、この方もさっきから何度も登場してますけれど、44 歳で人生初の彼氏ができた女性もいますし。

そうそう、こういう人もいました。

大学を出て、大学院も卒業して、30 手前でアメリカに留学して、10 年近くあっちにいて。で、向こうの人と結婚することになっていたんだけど、フラれちゃって日本に戻ってきたんですよ。

その時点で40もギリギリ手前。

で、こっちに帰ってきてからそのアメリカの彼を吹っ切るためにも婚活を始めたけれど、なまじ高学歴、でアメリカ留学なんてしていたから、男性からけむったがられちゃったのかな？

まあ、日本の男性は保守的なところがありますしね。

それで、わたしが国際結婚していることから、「この人ならわたしの気持ちをわかってくれる」と思ってたみたいで、彼女、わたしのところに来たんですよね。

彼女はアメリカに長くいたせいもあってか、ものをハッキリ言う人で、気に入らないこと、納得いかないことがあると「でもお～！」「だってえ～！」って食い下がってきて、正直かなりめんどくさかったですよ？

でもそこはわたしも、手加減なんかしませんでした。

彼女とはホント、何度もぶつかりました。

で、さすがのわたしもこの人だけは正直難しいかもな～ってサジを投げそうになりました。

でもね、そんな、普通の日本人男性からしてみたら、めんどくさくて私の強い彼女でしたが、ちゃんと出会えたんですよ。

彼女のその、物おじしないで自分の意見をハッキリ言うところを好きになってくれた男性と。

彼は、普通の日本人男性だったらタジタジとなっちゃう気の強さを、むしろ、彼女の個性としておもしろがってくれたんですね。

で、彼女、結婚しましたよ。そのとき彼女は43歳でした。

まだまだほかにもいっぱいいますよ。40過ぎてカレができた人。婚約した人。結婚した人。もう、数え上げたらキリがないです。

しつこいようですが、年齢は関係ないんです。

あ、ちなみに何度も言うんですけど、わたしが教える幸せなパートナーシップを引き寄せるスパルタ特訓。

これは、単なる恋愛ノウハウの座学だけでもないですし、トラウマがどうか親子関係がどうか、過去をほじくって、ブロック解放してとか、とか、そういうのだけではないですよ？

もちろんわたしもプロカウンセラーですし、必要な時はそういう技法も使います。
といいますか、セラピーにはわたし、こだわりありますんで、必要な時は、
しつこいくらい丁寧に丁寧にやりますけどね。
その辺は悪いけど、そこらへんのインチキセラピストと一緒にされたら困ります (笑)

でも、やっぱりキモはそこじゃないんです。

しつこいようですけど、トラウマ解消とか、親子関係の見直しとか、潜在意識の書き換え
だとか、瞑想だとか呼吸法だとかアファーメーションだとか筋反射だとかタッピングだど
か、いろんな技法はあるにはあるんですけど、
かといって、それらの技法をやれば本当に自分にぴったりのパートナーと出会えるか？
っていうと、それはまず無理なんで。

もちろんやりたかったらやってもいいけど、ま、趣味で、やりたかったらやってください
って感じですよ。

それがわたしがお伝えする手法なんですけど、要するにたとえアラフォーでもアラフィフで
も、バツイチコモチッチでも、容姿に自信がなくて自分のことをブサイクだって思っ
ても、はたまた、さっき出てきた不倫してた女性みたいに、相手の男性にいわれるがま
まに大金貸しちゃって、返ってこなくなっちゃったっていう、笑えない過去があったと
しても。

まず、本気であること、そして、言われたことを実践する素直さがあれば、
十分いけるっていうことなんです。

しつこいようですけど、今のあなたが何才だろうが、ふとっといょうがやせてい
ょうが、離婚歴があろうがなかろうが、過去、都合のイイ女やってようが、一切関係
ないですよ。

あ、そうそう。わたしのクライアントさんには、外国籍の方もいらっしゃいます。
ひいお爺さんひいお婆さんの代に韓国から日本に移り住まれた方です。
ご本人は国籍が日本ではないことをものすごく気にしていて、最初はカウンセラー
であるわたしにもひた隠しにしていました。

で、彼女の場合、再婚なんですけど、前の結婚のとき、相手の親御さんからもの
すごくいじめられたんですね。

特にお母さんがひどかったらしいんですね。

元の旦那さんと結婚してた時は、田舎の方に住んでたそうなんですけど、田舎
のほうって、

まだ根強い人種差別とか偏見がありますからね。

で、そのお姑さんが、息子である元の旦那さんに、「この女と別れろ、別れないんだったら、私が出ていく。」って詰め寄ったとかで、そのモトダンも母親に逆らえなくて、結局、離婚することになっちゃったわけです。

彼女ね、ホント傷ついてました。だって、韓国から日本に移り住んだのは、ひいお爺さん、ひいお婆さんの代ですからね。

ご本人、日本で生まれて、日本で育って、日本語しかしゃべれなくて、韓国には一度もいったことなくて。

それでこうなっちゃったんですからね。

まあ、わたしに言わせれば、そんな、母親にアタマあがんで、自分の女房一人守れない腰抜けとは、別れて正解だよってハナシなんですけどね。

まあ、そんなことがあったもんだから、彼女、たとえまた好きな人ができておつきあいできたとしても、いざ結婚ってなって、自分が韓国籍であることを話したら、どうせまたダメになる。もう二度とあんな思いはしたくないって怯えてました。

ところがですね～、そんなこと全然気にしない、とっても優しくて、彼女を本当に大切にしてくれる男性と出会って、結婚しちゃったんですよ～。

ちなみに彼女が大阪、彼が福岡の遠距離恋愛だったんですが、彼ね、毎月、福岡から大阪まで彼女に会いに来てくれたんですね。

私も夫とは、日本とオーストラリアの遠距離でしたし、知り合った時はお互い他の人と付き合ってた、ただの友だちだったんですよ。

その後つきあいはじめてからは、夫の方がわたしに会いに、オーストラリアから日本に休みのたびにきてくれました。

で、韓国籍なのを気にしていた彼女の話にもどるんですけど、つきあって半年たったころ、彼が、彼女のご両親に会いに、大阪まで挨拶に来たんですね。

そしてその翌月、彼女にも自分の家族に会ってほしいからっていうんで、福岡に呼んで。で、彼のご両親もとってもいい方たちで、彼女のことを、ものすごく気に入っちゃって。こんないいお嬢さんがうちの息子のお嫁さんになってくれるって大喜びで。

彼女のご主人、どちらかという物静かなタイプで、ふだんは草食系なんですけど、彼女とのことになると、もう電光石火。あっというまに結婚しちゃいました。

住まいもね、知らない土地にお嫁に来るよりは、ご両親も住んでいる、住み慣れた町の方がいいだろうっていうんで、
彼ね、大阪で仕事見つけて引っ越してきたんですよ。

彼女、もう、大感激してました。

だって、別れた前のダンナさんもそうでしたけど、彼女の方がいつも譲って相手に合わせるっていう、そういう自己犠牲的なお付き合いしかしたことなかったって言ってましたから。

まあ、とにかく、国籍のことは、ご本人、すごく気にしてらっしゃいましたね。

結局何が言いたいかっていうと、年齢とか容姿とか、離婚歴があるからとか、シングルマザーだからとか、遠距離だからとか、はたまた国籍がどうのとか、そんなこと一切関係なく、あなたに夢中になってくれて、あなたのことを一番に考えてくれる、そういう男性を、わたしがお伝えする方法なら、簡単に引き寄せられますよってことなんですけどね。

でもまだこれを聞いている多くの人が、「でもやっぱり、この人たちって、年齢関係ないとか言っても、年の割に若く見るとか、見た目が平均よりキレイとか、なんかふつうの人よりは条件よかったんじゃないの？」とか思ってるんじゃないかなって思います（笑）

ちなみに、その韓国籍の彼女、色白で優しげな顔立ちはしてますけど、中高時代、バスケット部だったとかで、身長も 170cm ちょいあって、体つきも骨太でがっしりしてて、かなり大柄なんですよ。性格はもちろん素直でかわいらしい方ですが、見た目だけいうと、いわゆる一般的に男の人ウケしそうな、華奢でかわいらしいっていう、そういうかわいらしさとはいさむしろ無縁の方なんですよ。

ご本人は、「わたしは韓国籍だし、バツイチで年齢もいってるし、見た目もごつくてかわくない」ってずーっとコンプレックス持ってたようなんですが。

背が高いのを気にして、いつも猫背だったんで、わたしも「アナタ！背筋伸ばしなさいっ！」って何度も注意したんですよ（笑）

ちなみに、私、一般的な恋愛カウンセラーや恋愛コンサルタントとはちがいます。

「愛されメイク」だの「愛されコーディネート」とだの教えてないです。

ま、わたし自身、今のカウンセラーという仕事で独立するまでは、フランスのファッション関係の会社にいました。18年も。

なので、おしゃれって、まったく関心ないわけではないですが、わたしが扱ってたのは、どちらかというところヨーロッパのマダムっていう感じのものだったんで、日本の婚活女子ファッションって、守備範囲じゃないんですよ。「愛され A ラインワンピース」だの「婚活必須アイテム」だの、そんなもん知らんがなって感じですよ(苦笑)

知らないものは教えられない。

でもそんなことを一切教えてないにも関わらず、彼女たちは、彼女たちのことを世界の誰よりも魅力的だと思ってくれて、本当に大切にしてくれる男性と巡り合っているんです。

私は女性としての自分の価値を認めるだとか、健全な自尊心をとりもどすとか、自分を大切にすることとか、お互いを大切にしたい対等なパートナーシップを築ける男性を引き寄せるための本質、全体像をお伝えしただけなんです。

でも、彼女たちはそれを、それぞれ、自分らしい自然な形で花開かせていった。

だから、1 から 100 まで、マネージャーみたいに手取り足とりすべてを教えたわけではないです。そうすると、簡単じゃなくて、難しいの部類に入っちゃうじゃないですか。そうじゃないから簡単なんです。

でも、彼女みたいに、国籍のこととか、ふつうの男性より背が高めとか、見た目に関係なく彼女を好きになってくれてプロポーズしてくれたっていうだけで終わりだったら、まあ、そういうこともあるよね、単なるラッキー、かもしれないじゃないですか。

でもそれでおわってたら、わたしはわざわざこうしてしゃしゃり出てしゃべってなんかいないんですよ。

彼女の場合、実は、前の旦那さんと結婚していたときに 2 回流産して、それがもとで、赤ちゃんが産めなくなっちゃったんです。

なので、「わたしは日本人じゃないし、離婚歴もあるし、年齢もいってるし、見た目もかわいくないし、おまけに子どもも産めないしで、わたしなんかお嫁さんにしても、な〜んもメリットないですよ？」って自嘲気味に言ってたんですよ。

だから、最初の頃はセッションしててもキツかったですよ？

なにかあると彼女、「どうせ」とか「やっぱり」という自虐的な発想に逃げ込むクセがあったんで。

でもね、どんなに深い底なし沼のようにしか思えない心の闇でも、かならず底ってあるんです。

彼女、その自虐癖が抜けたら、変わりました。笑顔がものすごく、可愛くなったんです。

文字通り、輝くような笑顔って言うんでしょうか。

何が起きたかっていうと、彼女、自分で自分をいじめるのを卒業できたんです。

自分を丸ごと受け入れられるようになったんです。

自分の年齢のことも。見た目のことも。韓国籍であることも。離婚歴があることも。流産したせいで赤ちゃんが産めないことも。

とにかく丸ごと全部。

「いろいろあったけど、でもこれがわたしなんだ。」って。

で、それ見てわたしね、ピーンと来たんですよ。

「あ、これ、もう、ありのままの彼女を丸ごと愛してくれるパートナーできるの、時間の問題だわ。」って。

だってね、パートナーシップってね、まずは自分自身とのパートナーシップありきですから。

だから自分を丸ごと受け入れられるようになったら、そんな自分を丸ごと愛してくれる、そんなパートナーが現れざるを得ないんですよ。

これは、心理学や精神世界をちょっとでもかじったことのある人なら常識なんですけどね。

で、彼女、お見合いサイトにもいくつか登録してたんですが、「会ってもらえませんか？」っていう申込みがダダターっといきなり増えて、毎週末のようにデートっていう状態になったんですよ。今まで40年間、自分を価値がないと思って生きてきたわけですけど、その40年間をとりかえすみたいな勢いで。

で、聞かれたんですよ。「先生、こんなにたくさんの人からあってほしいって申し込みちゃいました。どうしましょう？」って。

で、わたし言いました。

「あのね、まずはとにかくできるだけたくさんの男性とあってみましょ。男性のお友達を作る、男性に慣れるっていうところを目標に。あなたの場合、前の旦那さんとのことでいろいろあったし、まずは男性への信頼を回復するっていうのが大事だから。リハビリのつもりで気楽にいきましょ。」って。

そしたら案の定、そのうち、彼女、こういうこと言い出しました。

「先生、わたし、前の主人との離婚が傷になって、男の人って怖いし信用できないと思っ

てたけど、男の人って、優しいですね。」って。

これ聞いてね、「あ、もう、こりゃいける！」って思いましたね。
そしてそのすぐあとですよ。今のご主人とつきあうことになったってご報告をいただいたのは。

ふつう、お見合いサイトに登録したり、婚活パーティーとかに行っても、「ロクな男がない」って不満タラタラで帰ってくる女性、いっぱいいるんですよ。
まあ、いい出会いを引き寄せられないんでしょうね、まったく同じ所でまったく同じ条件で婚活しても。

だから負け惜しみで「ロクな男がない」って見下すような発言をするわけなんです。
でね「ロクな男がない」って見下しちゃいるけど、ホントは、そういう女性たちってね、自分のことを「ロクな女じゃない」って見下してるんですよ。

心理学用語でこれを「投影」っていいますけどね。

だからいくら張り切って愛され A ラインワンピースでバッチリ決めても、いつまでたっても自分にぴったりのパートナーに出会えないんですよ。
当然のことですよ。

とまあ、思わず、いつもの毒舌が炸裂しちゃいましたが。
私があるシンプルな方法をお伝えして、それを愚直にくりかえしていただくことで、「一年後に一対一でお付き合いをしている相手が出来ている、という状態を作りましょう」と目標設定したんです。

かなりの回数、わたしもフィードバックしています。
実際に、そのフィードバックの記録をお見せするのは、守秘義務がありますし、それはさすがにできないんですが、ポイントがあるんです。
だから、パートナーを引き寄せるためのイメージングとかアファーマーションとか、傷ついたインナーチャイルドを癒やしましょうだの、両親を許して感謝するだの、自称恋愛カウンセラー、自称恋愛セラピストがよく言うようなことは、もちろんまったくやらないことはないけど、そこまで優先順位は高くはないんですよ。

今までの男女関係をあつかうカウンセリングやセラピーって、こうじゃなきゃいけないというイメージがあったと思うんです。
やれ、幼少期の親子関係を見ていきましょう。傷ついたインナーチャイルドを抱きしめましょう。両親を許しましょう、両親に感謝しましょう。

本心から感謝できないのに、一生パートナーが見つからないと困るからって言うんで、無理やり感謝しても、パートナーなんかできやしませんって。

そういう、本質とははずれた表面的なことを一生懸命やってる人ほど、遠回りしてしまいます。

あとはアレだ。「自分の誕生日には、“産んでくれてありがとう”って親に感謝しましょう」って、やたら親への感謝を強要する自称セラピスト、いるじゃないですか？キモすぎますよね。ってか、ありゃハッキリ言って、暴力ですよ。

ちなみに、わたしんところは、「親不孝バンザイ！」って教えてます。そして、「感謝を強要するような毒親とは境界線をビシッとひけ！」とも教えてます。

わたし、こういう過激な発言しますしね。

けっこうビックリされるんですよ。

「親に感謝できないと、パートナーできないんじゃないですか？」って。

実際、これまでにでてきた 62 歳で結婚した女性なんかも言っていました。

過去、私自身もおなじように思っていた時期もあります。親との関係はパートナーシップに影響するから、親に感謝できる自分にならなきゃって。

でも、20 年やってきてわかったことなんですが、これ、ぶっちゃけあんまり関係ないんですよ。

だから親を許せなからうが、親に感謝できなからうが、わたしが教えるノウハウだと、パートナーできちゃうんですよ。

あともうひとつあるんですが、自分に対する認識を変えること。セルフイメージを変えるっていう表現をする人もいますね。

こちらはセラピー的なアプローチなんですが、自分をどういう人間だと思っているか、そして他人に自分をどう扱わせるか。

ここが自分の自信とか気持ちがモロに反映される部分なので、この部分を癒すことで、本当に大切にしてくれる人って、意外とあっさり現れちゃうものなんです。

で、セルフイメージを変えるのは大変だとか、あとは、行動し続けるのがむずかしい、アタマではわかってるけど続けられないっておっしゃる方、実際多いんですが、多くの方はどっちか片方しかやらないからうまくいかない。

それどころか、やればやるほどしんどくなるんですよ。

たとえば、家にこもってるだけで何もしないクセに、やたらハイスペックな、たとえば最低年収 1000 万円のイケメンなパートナーがほしいとか、本気で言ってる人いるんですよね。何をお花畑なこと言ってるんだ？アタマ大丈夫か？って心配になります。

やっぱりね、人間関係の組み合わせって、

1. こちらはあちらを好きだけど、相手はこちらに興味がない、
2. あちらはこちらを好きだけど、こちらはあちらに興味がない、
3. 双方が相手に興味ない、
4. そして、お互い相手に興味を持っている、つまり、両思い。

この 4 パターンしかないんです。

だから両思いの相手と出会うために、最低でも 4 人の男性に会ってみる必要があるんですよ。

そんな簡単な算数もわかんないから、2 回か 3 回振られたくらいで刺さっちゃって、もう二度と傷つきたくないからって、行動しなくなる。

行動しない結果、トシばかりどんどん食ってくわけです。

そしてセルフイメージもどんどん下がる。

だから、セルフイメージを高めながら、同時並行で行動も続けるっていう両方をやっていたら、パートナーなんてあつという間にできるんです。全然大変じゃないんです。

なのに、大概のところでは、「セルフイメージを変えれば引き寄せられる」とか嘘八百教えちゃって、瞑想だのイメージングだのアファーマーメーションだのを教える。

あとは、なんちゃらヒーリングとかいって、アタマに手かざして、ほんの数秒で、いっちに一のさんっ、はいっ！みたいな。

そんなことしても、残念ながら、現実にはビターミリ動きませんからね。

セルフイメージを高めたり、エネルギーワークしたり、だけじゃ片手落ちで、同時に、出会い行動をしつこくしつこく続ける愚直さ。これが伴わないと現実、変わらないんですよ。これがまず 1 個目の秘密なんです。

それじゃ、セルフイメージあげて行動をつづけさえすれば、パートナーに必ず出会えるのかっていうと、実はそういう訳じゃないんです。それだけじゃまだ不十分で、もっと重要な秘密がいっぱい眠っているわけなんです。

そう、つまり、ここからが特に重要です。ここからさきが秘密の 9 割ぐらいになります。その秘密のベールの部分ですね。

ここから2つめの秘密に入るんですが、えっと、じゃあ、セルフイメージあげて行動します。

で、ここで大事なのは、自分に興味を持ってくれる男性と出会わなきゃいけないということです。

で、当然なんですけど、一発で出会えるわけなんてないですから、たくさんの男性と出会っていかなきゃいけないんですね。で、たくさんの男性と会うことそのものは、気合いと根性さえあれば、実はけっこう簡単なんですけど、それよりもっともむずかしいのは、出会った男性に「この女性をもっと知りたい。また会いたい。」という気持ちを作ることなんです。このつなぎ方に秘密があります。

なにかというと、ファーストデートでの簡単なシナリオを作ったんです。

ウチに来る方には、まったく男性とおつきあいをしたことがない方もいらっしゃいましたからね。

一度も男の人と付き合ったこともないのに、「とにかく男性と会ってこい」って放り出されても、営業経験のないずぶの素人の新人社員が、いきなり訪問営業に放り出されたみたいで、さすがに怖いでしょ？

人間、怖くなると頭が真っ白になって思考停止して、行動できなくなっちゃうんですよ。

そこでシナリオの登場です。

でもね、そのシナリオ、普通の恋愛カウンセラーの書いたものとは、まったく違う書き方をしています。

具体的には相手の男性が「この女性をもっと知りたい。また会いたい。」という気持ちになるように設計されているんですが。

あ、そうだ、もっと大事なことがありました。これを言うのを忘れちゃいけない。

デートした男性から「この女性をもっと知りたい、また会いたい」って思ってもらえるようにすることと同時に、彼女にふさわしくない男性には、興味を持たれないようにする設計になってます。ウチのシナリオは。

「虫コナーズ」ですね（笑）

だって、おつきあいが始まってから、実は相手の男性が DV モラハラ男だったりとか、不誠実な相手だったわかんるんじゃ、困るじゃないですか。

そういうオトコに限ってしつこいから、断るのも大変だし。

で、そのデートのシナリオを、だれでも再現できるテンプレートにしてあるということが2つめの秘密なんです。なので、単純に、なるべくたくさんの男性と会うというところさえがんばれば、一定の割合で相手の方がまた会いたいと思ってくれて、セカンドデートのお誘いがかかる。そのうち時間の問題で誰かから、場合によっては同時に複数の男性からおつきあいの申し込みが入る。あなたは自分に一番あった男性を選ぶだけ。こういう状況が作れる、ということなんです。

そしてこれは、男性慣れしていなくて、男性の前だと緊張してしゃべれなくなる人。逆に、緊張しすぎて自分をコントロールできずしゃべりすぎてしまう人。どちらにも使えるテンプレートにしています。

テンプレートとは言っても、自分らしさを引っ込めてネコをかぶるためのものではなく、基本形はありつつ、同時に、その人らしさ、自然な魅力が相手に伝わるような、そういう設計になっています。

そして、3つめの秘密なんですが...

わたし以外にも、恋愛カウンセラーとか恋愛セラピストっていらっしゃいますし、優れた方たちもたくさんいらっしゃいます。

でも、その方たちのメソッドを実行したときに、本当にパートナーが見つかる人と、出会いの出の字すらない人に分かれるんです。なんでかという、その恋愛カウンセラーなりセラピストの方個人の成功体験の域を出ないからなんです。要はワンパターンってことです。

わたしの場合は、その人その人の持って生まれた個性、気質、性格のタイプ別にシナリオをつくります。

この辺は、わたし、いろんな手法持ってます。

たとえば、ユングの性格分類だったり、エニアグラムっていう性格タイプ分析だったり、あとは、パーソロジーっていう、その人の骨格とか顔の作りで気質のタイプや対人関係での反応のパターンを分析するやり方もつかいます。

それだけでなく、キネシオロジーって言いまして、身体の筋肉の反射、筋反射を使ってのテストもつかいます。

とにかく使えるものは何でも使います（笑）

要は、その人らしい魅力を自然体で出すことで、ふさわしい人に興味を持ってもらえる、逆に、ふさわしくない人には変に興味を持たれないようにするっていう、そういう話し方とかふるまい方のツボって実はあるんですよ。

そこをちゃんと抑えないと、いくらがんばっても、いいご縁は引き寄せられないですね

。

まあ、普通に考えて、40歳になるまで男性と一度もおつきあいしたことのない女性が、慣れない婚活パーティーとか合コンに行っても、あまり成功は期待できないであろうことは、自明の理なんですよ。

ひとりひとりが指紋が違うように、それぞれの人の魅力ってちがいますし、その魅力の引き出し方も、それぞれちがうですよ。

これは経験を積まないとできません。

画一的になっちゃって、みんな同じことをやらせようとする。

だからうまくいかないんですよ。

で、さっきから言っているこのシナリオというのが優れものでして、どんなに自分に自信がない女性でも、自分の自然な魅力をムリなく出すことができます。

自分に合った男性から、「また会いたい」って思ってもらえますし、しつこいようですが、ご縁ができない方がいい方がいい男性からは、興味を持たれなくするように、ある程度コントロールすることも可能です。

私もこれで今の夫との関係性を築くことができましたし、10人以上のクライアントに教えてきました。

ちなみにこれ、男女関係だけでなく、ビジネスで、理想的なお客様を引き寄せるのにも役に立つんですね。

同業者のカウンセラーの方にもちょっとだけ教えてみました。

その方、お客さんから予約をドタキャンされたり値切られたりしていたそうなんですけど、そういう悪質なお客さんが来なくなって、本当に彼女をリスペクトしてくれるいいお客さんが来るようになったって喜んでましたね。

まあ、そういうシナリオです。

極端な話、これを読み上げるだけでもけっこうイケちゃいます。

と言っても、デートの最中に相手がいる前でノートを広げて読み上げるわけにはもちろんいきませんから、そこはトレーニングが必要にはなりますが。

まあ、それぐらい自信があるものだということです。

まあ、シナリオっていうと、なんかこう、自分らしさや個性を抑えて、決まり文句だけを言うロボットみたいになるんじゃないかとか、そのうち化けの皮がはがれるんじゃないかとか心配なさるかもしれませんが、まったくそんなことはないです。

逆に満足度は高いです。1本目の音声で失敗がないっていったとおもいますが、自分らしさとか個性を抑えて、決まり文句だけを言うとなると、たしかにその人らしさは消えますし、むしろ相手の男性からつまらないと思われてしまったり、誤解されてしまうんですね。

あとは、ご縁ができない方がいいタイプの男性に好かれてしまうとか。

だから、そうではないと覚えておいてください。

実際、私は自分の講座の受講生の方が初デートに行くときは、もちろんこれはご本人が望めば、であって、いやならもちろん無理強いはしませんけれど、ICレコーダーでデートの会話の様子を録音してもらって、あとで一緒にレビューしてその場でアドバイスしたりするのですが、このトークをしっかり練習した人は1回目からどんどん男性から興味を持ってもらっています。まさに読み上げるだけ、という状態になっています。

それでは、いよいよ、「スパルタ恋愛実践塾」の核心の部分に迫っていこうと思うんですが、少し長くなりましたので、なぜ一般的なカウンセリングやコーチングではあまり結果がでずに、「スパルタ恋愛実践塾」では大きな成果をあげられるのか。その最も重要な部分を、次回にまた続きをお伝えしたいと思います。

ぜひですね、この音声を何度も聞いていただいて、「スパルタ恋愛実践塾」で学ぶということはどういうことか？

その本質を知っていただけたらと思います。ありがとうございます。